

2024年度 事業報告書

社会福祉法人 NHK厚生文化事業団

2024年度 事業概要

NHK厚生文化事業団（以下、事業団）の2024年度事業については、全体としては概ね計画通りに展開できました。

NHKやNHKグループ各社をはじめ、さまざまな団体と協力しながら事業を実施し、有益な福祉情報の発信・提供を進めることで社会福祉の増進に貢献しました。

○障害者福祉事業

関心の高い発達障害をテーマにしたフォーラムなどを開きました。

発達障害については東京と名古屋で、自閉症については大阪で開催しました。

障害の当事者、支援する人たちの体験作文を募集する「障害福祉賞」は、NHKの番組と連動しながら例年通り開催しました。入選者についてはNHK・Eテレ「ハートネットTV」やラジオ第一「ラジオ深夜便」で紹介しています。特に「ラジオ深夜便」で受賞者のインタビューが放送されると、リスナーから作品を読みたいという要望が多数寄せられ、昨年が続いて作品集の増刷を行いました。

障害者スポーツへの支援に力を入れ、パラアスリートと小学校に赴く出前授業「交流教室 パラリンピアンがやってきた！」を6回計画し、首都圏のほか、岩手、愛知でも実施しました。

障害の有無に関わらず、みんなで楽しめるスポーツとして「ボッチャ」に注目し、NHKエンタープライズ、NHKアート等と協力して小学生の大会を開催しました。

このほか、東京都や渋谷区が開催するパラスポーツの大会に賞を贈っています。

体の不自由な子どもたちに雪遊びを楽しんでもらう「療育キャンプ」を5年ぶりに開催しました。

○高齢者福祉事業

「認知症とともに生きるまち大賞」は8回目となりました。表彰式と関連のフォーラムを開催したほか、認知症をテーマにした小規模な勉強会を東京の港区で開き、地域の福祉の現場とのつながりを大事にして事業を進めました。

NHKエンタープライズと共同で、高齢社会やがんをテーマにしたフォーラムを開催して、認知症になっても、がんになっても、人間らしく、自分らしく生きることができると社会の実現を目指した取り組みを行いました。

○地域福祉支援事業

地域の福祉活動を支援する「わかば基金」事業を実施し、各部門の申請について選考委員会を経て、支援金を決定しました。「支援金部門」には159件の申請があり、このうち15件に総額630万円を、「PC・モバイル端末購入支援部門」には78件の申請があり、このうち30件に総額290万円を贈りました。

地震や大雨の災害に見舞われた能登地方の復旧・復興に役立つよう、計1,000万円の義援金を贈りました。

○福祉情報提供事業

「福祉ライブラリー」のタイトルを増やしながら推進しました。事業団ではJKAからの補助金で福祉ビデオ教材を作っていますが、昨年作った「子どもの発達障害」については従来のDVDでの貸し出しだけでなく、オンラインでも見られるようにして利便性を向上させています。数年前のものであってもDVD貸し出しで人気がある作品については出演者等の許諾を丁寧にいただきながらオンライン化するなど、広げていきたいと考えています。

○チャリティー事業

「NHK福祉大相撲」については、収益から福祉車両「福祉相撲号」5台を各地の福祉施設などに寄贈しました。

目 次

1. 障害者福祉事業	1
2. 高齢者福祉事業	5
3. 地域福祉支援事業	7
4. 福祉情報提供事業	10
5. チャリティー事業	12
6. その他の支援事業	12
7. 広報活動	14
8. 内部統制の整備・強化とコンプライアンスの徹底等	14
9. 後援・協賛した事業	15
10. 寄付金	16
11. 賛助会員・維持会員等	16
12. 役員	17
13. 2024年度末常勤総数	18

1. 障害者福祉事業

(1) 第59回NHK障害福祉賞

障害のある人の体験記録や、福祉関係者、家族などの実践記録を広く社会に伝える事業です。
462編の応募があり、選考の結果、次の実践記録が入選しました。

<応募数>

第1部門： 障害のあるご本人の部門	344編
第2部門： 障害のある人とともに歩む人の部門	118編
	計462編

<入選作>

最優秀	千代子さんと私	倉科 由加子 (愛知県)	(第2部門)
優 秀	生きたい「私」と、弱い「わたし」	川越 萌々香 (宮崎県)	(第1部門)
	知ってほしい	夏目 千種 (愛知県)	(第1部門)
	芽吹いて、生きて	西川 早千恵 (大阪府)	(第2部門)
佳 作	夢を繋げ	後藤 未来 (埼玉県)	(第1部門)
	当事者と支援者のあいだ	斎藤 彰太 (北海道)	(第1部門)
	大好きな 手仕事から 音声パソコンへ！	中地 恵子 (栃木県)	(第1部門)
	隠したくて、隠したくない～難聴の娘とセルフアドボカシー～	遠山 紀子 (東京都)	(第2部門)

矢野賞(長年にわたる体験・実践記録を対象に贈る賞)

息子とともに(半世紀を生きて) 大西 光子 (東京都) (第2部門)

入選作品は「第59回障害福祉賞入選作品集」を作成して広く頒布したほか、視覚障害のある方にお読みいただけるよう、朗読による音声版(デジタル録音)、点字版の入選作品集も作成しました。

贈呈式は12月10日にNHK放送センターに受賞者を招いて実施し、一部の受賞者はオンラインで参加しました。

また入選作品や受賞者の思いは、NHKの番組「ラジオ深夜便」「ハートネットTV」で紹介されました。

*NHKの放送(いずれも2025年)

2月18日	Eテレ	ハートネットTV「今 このときを刻む NHK障害福祉賞より」	(出演：西川早千恵さん、斎藤彰太さん)
2月25日	ラジオ第一・NHK-FM	ラジオ深夜便「明日へのことば」	(出演：大西光子さん)
3月12日	ラジオ第一・NHK-FM	ラジオ深夜便「明日へのことば」	(出演：倉科由加子さん)
3月26日	ラジオ第一・NHK-FM	ラジオ深夜便「インタビュー」	(出演：夏目千種さん)

(2) NHKハートフォーラム

NHKとの共催事業として、NHKの福祉番組等との連動を図りながら開催しました。かつて支局を置いていた、近畿（大阪）、中部（名古屋）の各地区では、本部が窓口となって地域とのつながりを継承しながら実施しました。

7月27日（土） 東京・渋谷区

「子どもの発達障害 『今、大切なことと、将来、役に立つこと。』」

参加者：1,129人（オンライン）

11月10日（日） 大阪市

「自閉スペクトラム症からのサイン ～行動の裏側をどう“見る・観る・診る”？～」

参加者：304人（会場）

(2025年)

2月 1日（土） 愛知・名古屋

「実は身近な発達障害 変わりゆく社会の中で『働き方』を考えよう」

参加者：265人（会場）

3月23日（日） 東京・渋谷区

「障害福祉賞～入選作品を読み、人生を拓いていく～」

参加者：106人（オンライン）

合計1,804人

(3) 教員のための「インクルーシブ教育」研修

Eテレの「多様性理解」番組を使った特別支援教育講座を開催し、教室のインクルーシブに寄与しました。

(2025年)

2月14日（金） 始良市立建昌小学校（鹿児島県）

参加者：同校教職員等 20人

2月19日（水） 松坂市立豊田小学校（三重県）

参加者：教職員 10人

(4) 福祉の星フォーラム

福祉施設や障害者施設で働く若者の姿を通じて、福祉の現場のイメージアップと理解促進を目的に、2009年度から愛知県社会福祉協議会、NHK名古屋放送局、中日新聞社との共催で実施しているフォーラムです。

(2025年)

2月 1日（土） 名古屋市

参加者：109人（会場）

(5) 第36回肢体不自由児・者のための療育キャンプ

雪遊びの機会がなかなか持てない肢体不自由児が、雪山の中で自然の豊かさを学び、集団生活を通して交流を深める事業を、日本肢体不自由児者協会などと共催してきました。

コロナ禍で3年、そして2023年度は能登半島地震の影響で中止になったため、5年ぶりの開催となりました。

(2025年)

1月 4日(土)～6日(月) 八海山麓スキー場(新潟県南魚沼市)

参加者：11組

(6) NHKハート展

○第29回ハート展

今回から、障害のある人たちだけでなく、障害者とともに歩む人からも詩の募集を行いました。あわせて3,166編が寄せられ、選考の結果50編を入選としました。

入選作品は、2025年7月2日(水)～7月7日(月)、日本橋高島屋本館 S.C. 8階催会場で展示し、以降、2025年度内に数か所で巡回展を行う予定です。

○第28回ハート展(巡回展)

2023年度に募集し、入選が決定した50編の詩は、NHKプラスクロスSHIBUYA Aなど全国5か所を巡回しました。

また、モニターに入選作品をループで映し出す、デジタル展示を5会場で実施しました。

*NHKの放送

5月28日・29日：Eテレ「ハートネットTV」

全国巡回展(5会場)

	会 期	会 場
東京展	2024年6月1日(土)～7月15日(月・祝)	NHKプラスクロスSHIBUYA (渋谷スクランブルスクエア14F)
名古屋展	2024年10月25日(金)～11月4日(月・休)	NHK名古屋放送センタービル プラザウエーブ21
札幌展	2024年12月4日(水)～12月9日(月)	チ・カ・ホ 札幌駅前通地下広場 北大通交差点広場[東]
福山展	2024年12月18日(水)～12月26日(木)	まなびの館ローズコム (福山市生涯学習プラザ)
八戸展	2025年2月7日(金)～2月24日(月・休)	八戸市美術館

デジタル展示(5会場)

	会 期	会 場
神戸展	2024年9月18日(水)～10月4日(金)	NHK神戸放送局トアステーション

川崎展	2024年10月28日(月)～11月11日(月)	川崎市本庁舎 展望フロア・展示スペース
北九州展	2024年11月30日(土)～12月8日(日)	関門海峡ミュージアム
福岡展	2024年12月10日(火)～12月25日(水)	NHK福岡放送局
横浜展	2025年3月1日(土)～3月10日(月)	NHK横浜放送局

総来場者：49,820人（1会場平均4,982人）

（7）交流教室 パラリンピアンがやってきた！

パラリンピック選手が小学校を訪問し、子どもたちとパラスポーツを楽しみ交流するイベントを、愛知や岩手を含め6回実施しました。パリ2024パラリンピックに出場した選手などを派遣し、どこの学校でも大変喜ばれました。

6月26日（水）東京・小平市立小平第十一小学校

「陸上」 参加者：678人

7月16日（火）東京・世田谷区立中里小学校

「車いすバスケットボール」 参加者：251人

9月10日（火）愛知・大府市立北山小学校

「ブラインドサッカー」 参加者：743人

10月 3日（木）岩手・二戸市立仁左平小学校

「ブラインドサッカー」 参加者：38人

11月22日（水）埼玉・坂戸市立大家小学校

「車いすバスケットボール」 参加者：217人

12月11日（水）千葉・浦安市立東野小学校

「車いすラグビー」 参加者：513人

合計：2,440人

（8）第2回小学生ボッチャ競技会

NHKエンタープライズ、NHKアートとの共催事業です。参加対象は、東京都の学校に在学、または東京都の団体（組織）に所属する小学校・特別支援学校の児童。参加チームの構成条件は、通常学級の児童と、2名以上の特別支援学級または特別支援学校の児童による合同チームとし、「障害のあるなしに関わらず、共に支え合い、共に学べる」をテーマに開催しました。

・ブロック予選（都内3ブロックで実施）：応募チーム数 24

8月24日（土） Cブロック予選会場 府中げやきの森学園（府中市）

8月25日（日） Aブロック予選会場 花畑学園（足立区）

8月31日（土） Bブロック予選会場 光明学園（世田谷区）

・本戦

9月16日(月) 渋谷区スポーツセンター

*NHKの放送

10月19日 Eテレ

(9) 障害者スポーツへの支援

○東京都障害者スポーツ大会「第58回スポーツの集い」

東京都、公益社団法人東京都障害者スポーツ協会と事業団が主催。重度の知的・身体障害者とその家族や関係者が一堂に集まり、スポーツに触れる機会を提供する大会として根付いています。

今回は、職員・家族を含め18団体・573人が来場。100メートル競走、玉入れ、リレー、大玉送りなど様々な競技を行いました。また会場に来られない施設とはウェブ会議システムでつなぎ、会場参加者とともに玉入れや盆パラビクスを楽しみました。

事業団から参加記念品のマフラータオルをお渡ししました。

10月 2日(水) 東京体育館メインアリーナ

参加者：会場参加(18団体) 573人
個人 3人
オンライン(12団体) 555人

合計：1,131人

○パラスポーツ大会に、事業団賞と参加者への記念品を贈呈

渋谷区主催のパラスポーツ大会に、事業団賞と参加記念品を提供しました。

4月27日(日) 渋谷区長杯 第7回車いすラグビー大会

6月 9日(日) 渋谷オープンパラバドミントン2024

(2025年)

2月 2日(日) 渋谷区長杯第4回パラ卓球大会

2月23日(日) 第5回ボッチャ渋谷カップ

※上記4大会に敢闘賞の盾を贈呈。「ボッチャ渋谷カップ」には加えて参加賞を贈呈。

※いずれも会場は渋谷区スポーツセンター

2. 高齢者福祉事業

(1) 第8回 認知症とともに生きるまち大賞

「認知症700万人時代」を目前に控え、認知症の人たちと共に安心して暮らしていくための多様な取り組みの喚起をねらいに、全国から活動事例を募集し、それを専門家、有識者によって選考し表彰しました。

20件の応募があり、本賞5件を選出。また、2024年1月に発生した能登半島地震で被災した認知症の人たちへの支援や地域の復興に関わる活動を「選考委員特別賞」として表彰し

ました。

表彰式は、オンラインフォーラムとともに1月25日（土）、ベルサール新宿グランドコンファレンスセンターで開催しました。

<受賞団体>

- ・一人の認知症当事者の声から広がる地域活動「まんまる農園」（北海道・北見市）
- ・夜でも安心して楽しく交流できる場「あざみ野オレンジバル」（神奈川・横浜市）
- ・離れた病院と手作り「ギフト」で交流「Roles晴耕雨読舎 南平台」（大阪・高槻市）
- ・過疎の地で、地域共生社会の進化・深化形を創り続ける
「“ごちゃませ・えがお”プロジェクト」（大分・佐伯市）
- ・「安心して認知症になれるまち」をめざして
「認知症フレンドリーな錦江町づくりプロジェクト」（鹿児島・錦江町）

*NHKの放送

2025年1月21日 Eテレ「ハートネットTV」

○表彰式・フォーラム

（2025年）

1月25日（土）ベルサール新宿グランドコンファレンスセンター

NHKハートフォーラム「認知症とともに生きるまちへ」

参加者：162人（オンライン）

○関連企画「認知症とともに生きるまちへ！」地域ミーティング

「認知症とともに生きるまち」を自分事として考えもらうための地域ミーティング（勉強会）を港区で開催しました。

10月31日（木）東京・港区（高輪区民センター）

参加者：76人

(2) フォーラム（NHKエンタープライズとの共同事業）

地域の医療従事者・行政・福祉団体・当事者等によるパネルディスカッション。2024年度は原則オンラインによる参加形式で計4回実施し、1,989人が参加・視聴しました。

○長寿の未来

認知症と超高齢社会を取り上げた一般市民向けのフォーラム。

開催地域の医療関係者、支援者、認知症の当事者、家族らとともに語り合いました。

9月29日（日）東京都

「三宅民夫と考える 長寿の未来フォーラム

健康寿命をどう伸ばす？ フレイル外来と孤立を防ぐ食堂」

参加者：302人（オンライン）

(2025年)

1月19日(日) 中町・蔵シック館(長野・松本市)

「三宅民夫と考える 長寿の未来フォーラム
長野はなぜ”健康長寿日本一”になったのか？」

参加者：211人(オンライン)

***NHKの放送**

2025年3月1日 Eテレ 全国

TVシンポジウム「長い老後を、どう生きる ～健康長寿日本一 “長野”の挑戦～」

○がんと生きる～こころとからだ私らしく～

日々進化するがん医療と副作用への対処法など、最新の医療情報とともに、本人に寄り添う支援のありようについて、医療従事者、支援者、当事者、家族らとともに語り合いました。

11月10日(日) 山口県

参加者：619人(オンライン)

***NHKの放送**

2025年2月 7日 総合(山口県域) 「Yスペ! 患者・家族 がんから得たものは」

2025年2月14日 総合(山口県域) 「Yスペ! 医療者ががんになって気づいたこと」

(2025年)

2月16日(日) 東京都

参加者：857人(オンライン)

合計1,989人

(3) 新・介護百人一首2024

2006年から続けてきた、介護短歌の応募作から100首を選ぶ「NHK介護百人一首」をリニューアルして、2021年度から「新・介護百人一首」と改称してNHK財団と事業団の共催で実施してきました。

2024年度は、5,783人から12,440首もの作品が寄せられました。

3. 地域福祉支援事業

(1) 第36回 地域福祉を支援する「わかば基金」

あすの福祉の芽を育てる「わかば基金」は、福祉の分野で地道に活動を行っているグループを支援するために設けられたもので、36回目の今回は、「支援金部門」に159グループ、「PC・モバイル端末購入支援部門」に78グループから申請がありました。

選考委員会を経て、全国45グループに総額920万円の支援金を贈ることとしました。初回か

らの贈呈件数は1, 015に上ります。

○支援金部門 支援先 (15グループ、支援金総額630万円)

ちいさなお星さまの会 (岩手県盛岡市)	絵本制作、マグカップ・ポットなど	35万円
NP0法人風花 (岩手県野田村)	コーヒーグラインダー	48万円
NP0法人水梨かふえ (宮城県気仙沼市)	発電機、防災用品各種	50万円
いわき自主夜間中学 (福島県いわき市)	問題集、教科書など	14万円
NP0法人おたがいさま (群馬県玉村町)	真空包装機	50万円
NP0法人Breath Of Life (千葉県船橋市)	姿勢保持いす、歩行器	35万円
One Step (千葉県船橋市)	ホームページ、リーフレット作成	50万円
NP0法人ゆめのめ (東京都日野市)	ソーラーパネルセットなど	37万円
NP0法人いきがい (静岡県三島市)	ファンベスト、冷凍ストッカーなど	23万円
西豊田学区地域支え合い体制づくり実行委員会 (静岡県静岡市)	炊き出し調理セットなど	50万円
NP0法人安心生活ネットワークいち (石川県金沢市)	炊飯器	41万円
福井大学医学部能登半島地震災害支援チーム (福井県永平寺町)	レンタカー代など	50万円
NP0法人ピアサポートつむぎ (鳥取県倉吉市)	ウッドデッキ設置	50万円
福岡ろう劇団博多 (福岡県福岡市)	プロジェクター	48万円
NP0法人フリースクールクレイン・ハーバー (長崎県長崎市)	床改修工事	49万円

○PC・モバイル端末購入支援部門 支援先 (30グループ・支援金総額290万円)

音訳グループ旭川本の会 (北海道旭川市)	10万円
NP0法人きょうせい大船渡 (岩手県大船渡市)	10万円
NP0法人やまごや (山形県鶴岡市)	10万円
～カフェサリエ～ NP0法人響喜 (群馬県高崎市)	10万円
大宮朗読'81 (埼玉県さいたま市)	10万円
子どもも大人も食堂 北浦和 (埼玉県さいたま市)	10万円

のだ要約筆記サークル「ほたる」（千葉県野田市）	10万円
NPO法人テラコヤ（東京都豊島区）	10万円
NPO法人First Step（東京都新宿区）	10万円
ほっとりんく（東京都八王子市）	10万円
NPO法人ロータス（東京都大田区）	10万円
逗子葉山デジタルサポーターズ（神奈川県逗子市）	10万円
NPO法人新潟ねっと（新潟県新潟市）	10万円
訪問ボランティアナースの会 キャンナス上越柿崎（新潟県上越市）	10万円
NPO法人あまつしまロータスの会（愛知県津島市）	10万円
音訳ボランティア「草笛の会」（愛知県豊明市）	10万円
Mojica（愛知県名古屋市）	10万円
NPO法人まぐのりあ（三重県尾鷲市）	10万円
音訳ボランティアつるばみの会（富山県高岡市）	10万円
NPO法人まちづくりスポット・まちスポとやま（富山県富山市）	10万円
若者自立支援ボランティアGroup居場所の会「レリーフ」（滋賀県守山市）	10万円
NPO法人学習創造フォーラム（大阪府大阪市）	10万円
ボランティアグループでいんぷる（兵庫県神戸市）	4万円
NPO法人コーチズ（広島県広島市）	10万円
ナースコール神石（広島県神石高原町）	10万円
NPO法人五島あすなろ会（長崎県五島市）	10万円
熊本県手話サークルわかぎ熊本グループ（熊本県熊本市）	8万円
NPO法人認知症予防・生きかた支援センター HARUKAZE（熊本県熊本市）	10万円
NPO法人ミーサ・インフォメーション・Net（鹿児島県鹿児島市）	8万円
沖縄県障がい者ITサポートセンター（沖縄県浦添市）	10万円

(2) わが町のインクルーシブ防災

どこで起きてもおかしくない地震、津波、台風、集中豪雨などの自然災害。そのたびに失われる高齢者や障害当事者などの「避難行動要支援者」の命。こうした人たちを誰一人取り残さず救うという「インクルーシブ防災」の普及・啓発を促すワークショップを、毎年のように水害・土砂災害に見舞われる地域で実施しました。

東日本大震災時の障害当事者の支援や調査を行った講師の話聞き、「自然災害が起きた時、あなたの地域で暮らす避難行動要支援者を救うか」を、地域のハザードマップを使いながら考えました。

(2025年)

2月13日(木) 神奈川県逗子市 逗子文化プラザ市民交流センター

参加者：72人

3月1日(土) 和歌山県那智勝浦町 那智勝浦町体育文化会館

参加者：32人

(3) 福祉施設の製品販売会

事業団とNHK共済会が2011年度より共同で実施している「福祉施設で作られたお菓子などの販売会」を、東京のNHK放送センターで7回開催しました。

(4) 災害救護事業

地震や大雨の災害に見舞われた能登地方の復旧・復興に役立つよう、石川県共同募金会を通じて計1,000万円の義援金を贈りました。

4. 福祉情報提供事業

(1) 福祉ライブラリー事業

「福祉ライブラリー」はNHKの福祉番組をDVD等に複製して貸し出すもので、事業団創立以来の基幹事業の一つです。多様なラインナップで、教育や福祉の現場で活用されています。

2024年に開始したオンライン視聴はたいへん大きな反響があり、利用者数が前年比2倍に増加しました。

○福祉ビデオライブラリー

「ハートネットTV」などテレビの福祉番組や、「みんなの手話」「ドラマ デフ・ヴォイス 法廷の手話通訳士」など利用者のリクエストを反映しながら福祉の理解に役立つ番組をDVDに複製しました。また、聴覚障害者向け字幕DVDや、独自制作の福祉ビデオ教材もライブラリーに加えています。

おもな利用者は、福祉関係の大学・専門学校や、福祉の現場で働く人、障害のある当事者、その家族、ボランティア団体など。

オンラインでの視聴を可能としたタイトルが2024年度の利用上位に入っています。

「こころをケアする対話・オープンダイアログ」(609回・オンライン視聴可)

「発達障害の子どもの育ちを支える」(604回・オンライン視聴可)

「優しい認知症ケア ユマニチュード」(352回・オンライン視聴可)

「LGBTQ+」(72回・オンライン視聴のみ)

これらに続くのはDVDのみの「認知症ケア」(42本)、「うつ病」(34本)、「ひきこもりからの回復」(31本)で、いずれも独自制作ビデオです。

2024年度 複製番組数	ライブラリー保有番組数	年間利用数
39番組	739番組	3,128本(回)

◎これまでの利用数累計：21万5,751本

○聴覚障害者向け字幕ビデオライブラリー

NHKの字幕放送の拡充にあわせ、聴覚障害者向けサービスとして2003年度から行っています。

2024年度は、「みんなの手話」「ドラマ デフ・ヴォイス 法廷の手話通訳士」など15番組を加えました。

このライブラリーには通算144番組が収められ、全国57の聴覚障害者関係施設と当事業団で貸し出しを行っています。

○視覚障害者のための音声ライブラリー

文芸作品や古典の名作を朗読したNHKの番組をデジタル録音して、全国45か所の委託施設(点字図書館)で貸し出しを行っています。

2024年度は、『新日曜名作座』から「池波正太郎短編集」、『FMシアター』から第51回創作ラジオドラマ大賞優秀賞受賞作品「逆さ首」などの番組を加えました。

2024年度 ライブラリー化作品数	2024年度 年間利用本数
3番組 5作品	3,253(枚)

◎これまでの利用数累計：200万7,602本

(2) 福祉ビデオシリーズ「こころをケアする対話 オープンダイアログ」の制作

日本の精神科医療や対人支援の分野で関心が高まる、フィンランド発祥の「オープンダイアログ」という、「対話を柱に据えたこころのケア」について紹介する教材ビデオを制作しました。希少性の高いオープンダイアログの映像コンテンツとして、きめ細かな具体例・実践例を紹介することで、視聴者から「実践の参考になった」といった声が多数寄せられるとともに、ニーズの高さから飛躍的に視聴数が伸びています。

このビデオは、福祉ビデオライブラリーの「オンライン視聴」または「DVD貸し出し」にて視聴可能。特に「オンライン視聴」によって利便性が向上し、好評の声や「他のコンテンツも利用したい」といった声をいただいています。全国の医療機関・福祉事業者・教育機関・行政機関・企業等へも告知を行い、利用を促しています。

なお、本事業はJKAの補助金を得て実施しました。

ビデオ1 前編「対話実践を知る」

ビデオ2 後編「日本で実践するには」

監修：森川すいめい（精神科医／オープンダイアログ・トレーナー）

5. チャリティー事業

年間を通じて数々のチャリティーイベントを実施しました。

(1) NHK番組公開チャリティー

催物名	期 日	会 場	売上高等（千円）
おかあさんといっしょ ファミリーコンサート	5月3日～ 2025年3月1日	NHKホール 栃木県宇都宮市ほか 全国12会場 46公演	(寄付額) 8,546
いないいないばあっ！ ワンワンわんだーらんど	4月14日～ 2025年3月2日	茨城県水戸市ほか 全国10会場 26公演	(寄付額) 4,590

(2) 事業団企画チャリティー

催し物名	期日	会場	売上高等（千円）
令和6年度 日本陶芸倶楽部会員 チャリティー作品発表展	5月25日～ 5月30日	柿傳ギャラリー (東京・新宿)	(寄付額) 1,000
N響「第9」 チャリティーコンサート	12月24日	NHKホール	(売上高) 27,634
第57回NHK福祉大相撲 ※	2025年2月8日 *NHKの放送 2月23日 総合	国技館	(売上高) 27,383

※:物品などの贈呈を行った催し物で、詳細は6.(3)に記載

6. その他の支援事業

(1) NHK歳末たすけあい・NHK海外たすけあい

2024年度「NHK歳末たすけあい」「NHK海外たすけあい」を、NHK、中央共同募
金会、日本赤十字社と共催で12月1日～25日の期間に実施しました。

「NHK歳末たすけあい」は、共同募金会を通じて、国内で孤立の状態に置かれている人や生活に困窮する人など、支援を必要とする方々のために役立てられます。

「NHK海外たすけあい」は、日本赤十字社を通じて、世界各地で、紛争、災害、病気などに苦しむ人々のために役立てられます。

受付件数・金額（全国集計）

NHK歳末たすけあい	2万9,489件	4億9,227万8,893円
NHK海外たすけあい	7万8,462件	7億2,594万1,418円

（２）災害たすけあい

NHK、共同募金会、日本赤十字社とともに、大規模な災害が起こった際に、「災害たすけあい」を立ち上げており、2024年度は国内の実施が3件ありました。

（国内）

件名	期間	金額
令和6年能登半島地震災害義援金 （富山県被災者支援分）	2024年1月5日 ～2025年12月27日	（受付中）
令和6年度秋田県大雨災害義援金	2024年8月1日～12月27日	7,286万1,715円
令和7年大船渡市赤崎町林野火災による災害義援金	2025年3月6日～6月30日	（受付中）

（３）物品などの寄贈

○NHK福祉大相撲による福祉車両の寄贈

2025年2月8日に開催した「第57回NHK福祉大相撲」（入場者4,542人）の純益により福祉車両「福祉相撲号」5台を購入し、全国の障害者および高齢者の福祉団体に寄贈することにしました。

<贈呈先> 社会福祉法人 五城目やまゆり会（秋田県）
社会福祉法人 たかおか新生会（富山県）
社会福祉法人 多可町社会福祉協議会（兵庫県）
社会福祉法人 里庄町社会福祉協議会（岡山県）
社会福祉法人 いちき串木野市社会福祉協議会（鹿児島県）

（４）催物への招待

事業団の催し物に、視覚障害や知的障害のある人など496人を招待しました。

12月24日(火) N響「第9」チャリティーコンサート NHKホール
招待者：127人

(2025年)

2月8日(土) NHK福祉大相撲 両国国技館
招待者：369人

合計：496人

7. 広報活動

事業団が主催するフォーラムや催し物情報、福祉ビデオライブラリーの新着情報、これまでの活動記録などをホームページで掲載するとともに、メールマガジンやSNSでも配信し、事業団の福祉活動への理解と協力を求めました。

(1) ホームページ、メールマガジン等による広報強化

事業団の活動をより多くの人に知ってもらい、活用してもらうため、「最近の活動内容」や「募集事業の案内」「福祉ビデオライブラリーの新着情報」などをきめ細かく提供するとともに、ビジュアルでわかりやすい画面構成に努めました。また、若い世代にも福祉情報が届きやすくすることを狙い、インスタグラムによる情報提供も継続しました。

○主な掲載内容

- ・事業団の「催し物の予定」や「実施事業の報告」
- ・「NHK障害福祉賞」などの入選作品の紹介
- ・「わかば基金」で支援した福祉団体の活動をレポートする「わかばなかま」
- ・「福祉ビデオライブラリー」今月の新作、おすすめDVD
- ・寄付について など

(2) 広報リーフレット・ノベルティグッズ等の作成・配布

事業団の取り組みを紹介し、新規の寄付勧奨等で幅広く使用する広報リーフレットやノベルティを作成し活用しました。

8. 内部統制の整備・強化とコンプライアンスの徹底等

事業団はNHKグループの一員であるとともに、社会福祉法に則り、寄付で運営される社会福祉法人であることから、高い説明責任、透明性ある事業運営が強く求められており、引き続き、内部統制の整備・強化とコンプライアンスの徹底等に努めました。

(1) 内部統制の整備・強化とコンプライアンスの徹底

○外部の専門団体との連携

外部の専門団体との間で顧問契約を結び、適正経理、法務、労務・安全管理、情報セキュリティ等の重点リスクについて逐次助言を得て、客観性や合理性、専門性を担保し業務を進めました。

NHKグループの「統合ネット」に参加して、NHKと連携して情報セキュリティの整備に努めました。財務管理は社会福祉法人会計基準に対応した財務システムにより行いました。

○内部監査と会計監査

内部監査についてNHKビジネスクリエイト委託による実地監査を受検し、また、会計監査は、監査法人の専門チームに委託して行いました。ガバナンスの徹底に引き続き努めています。

○業務の適正を確保するための体制の評価

NHKグループの仕様に基づき、内部統制について「統制環境」「リスクの評価と対応」「統制活動」「情報と伝達」「モニタリング」「ITへの対応」の6つの観点から整備状況および運用状況の有効性を評価しました。また、業務上重要なリスクを抽出したうえで、必要な対応（内部統制）を実施しているか評価しました。評価の結果、2025年3月31日時点における事業団の内部統制は、概ね有効であると判断されました。

(2) 「働き方改革」の推進等

「働き方改革」に継続して取り組み、より創造性を発揮できる環境の整備に努めました。毎月の「働き方総点検」で、時間外や勤労休暇取得日数、業務量のバランスなどを把握し、適正な勤務管理に努めました。事業団の必須目標とした勤労休暇年間7日以上取得を全員が達成しました。

(3) 各種研修の実施

情報セキュリティ関係など、NHKから講師を招いて事業団独自で開催した研修などを通して、全役職員の意識を高め、リスクマネジメントの強化に努めました。

9. 後援・協賛した事業

毎年、福祉・教育・医療に関わる団体などが実施する研修や啓発事業、美術やスポーツに関わる団体などが福祉目的で開催するチャリティー事業等に協力しており、2024年度は90件の事業について後援や協賛を行いました。

○福祉関連の催し物 62件（2023年度は64件）

「世界自閉症啓発デー2024」「第11回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」「高校生ボランティア・アワード2024」「家族の会「わかば」の講演会、「家族が遷延性意識障がい者になるという体験—その心の動きとケアについて—」などの事業について、後援・協賛を行いました。

○チャリティー催し物 28件（2023年度は33件）

「国展」「春陽展」「二科展」「三多摩総合舞踊発表会」「チアリーディング日本選手権大会」「KEIRINグランプリ2024」「手工芸作品展」「チャリティー全国大陶器市」などを後援し、その益金から事業団へ寄付をいただきました。

10. 寄付金

個人や団体から当事業団に寄付をいただく一般寄付金と、当事業団が主催、後援、協賛したチャリティー事業から得るチャリティー寄付金の2種類があり、2024年度は以下の通りとなりました。

項目	件数	金額
一般寄付金	79件	131,957,414円
チャリティー寄付金	35件	40,340,596円
合計	114件	172,298,010円

11. 賛助会員・維持会員等

賛助会員は一般法人に協力を求め、2024年度は2団体2口の新規入会がありました。一方で、7団体15口の退会の申し出があり、結果として91団体から1,360万円の支援を受けました。

個人からの継続寄付者を含む維持会員等については、NHKおよびNHK関連団体役職員、NHK旧友会員など598人の方々の協力を得て、その額は225万円となりました。

〔特別賛助会員〕

- ・第一生命保険
- ・ノービスハイエストサービス
- ・みずほ銀行
- ・NHKエンタープライズ

〔賛助会員〕

- ・愛知県農業協同組合中央会
- ・葵設備工事
- ・アットホーム
- ・アフラック生命保険
- ・アーチェリープロダクション
- ・アーティストハウスピラミッド
- ・池上通信機
- ・石川近鉄タクシー
- ・岩谷産業
- ・エクサート松崎
- ・荏原冷熱システム
- ・遠藤波津子美容室
- ・岡谷鋼機
- ・勝亦電機製作所
- ・加藤電気工業所
- ・川崎重工業
- ・川嶋印刷
- ・木下サーカス
- ・近物レックス
- ・KDDI
- ・港北メディアサービス
- ・国際自動車
- ・国際電気
- ・コメリ

- ・近藤産興
- ・ジーズ・コーポレーション
- ・小 学 館
- ・スマートコンセプト
- ・全国大陶器市振興組合
- ・総合システム管理
- ・大和リース
- ・帝都自動車交通
- ・西 川
- ・日本音楽事業者協会
- ・日 本 交 通
- ・野村ホールディングス
- ・花岡無線電機
- ・丸 一 鋼 管
- ・三菱UFJ信託銀行
- ・森平舞台機構
- ・リ ン レ イ
- ・NHKエデュケーショナル
- ・N H K 財 団
- ・NHKビジネスクリエイト
- ・日 本 国 際 放 送
- ・三 栄 製 薬
- ・ジェイアール東海高島屋
- ・白 川 プ ロ
- ・住友電気工業
- ・全国陶器祭り振興会
- ・大和自動車交通
- ・ツ ム ラ
- ・東芝インフラシステムズ
- ・日産自動車販売
- ・日本音楽著作権協会
- ・日 本 電 気
- ・パーソルテンプスタッフ
- ・阪 急 電 鉄
- ・丸 徳 産 業
- ・明 電 舎
- ・ヨコシネディーアイエー
- ・N H K ア ー ト
- ・N H K 学 園
- ・N H K 出 版
- ・NHKプロモーション
- ・日本放送協会共済会
- ・サ ン セ イ
- ・島 精 機 製 作 所
- ・スタービーイング
- ・ゼネラルパートナーズ
- ・ゼ ン リ ン
- ・大 和 証 券
- ・帝産キャブ名古屋
- ・東 新 紙 業
- ・日 本 医 師 会
- ・日 本 ガ イ シ
- ・ネ イ チ ャ ー
- ・バーニングプロダクション
- ・福 建 社
- ・三井住友信託銀行
- ・メ デ ィ ア 2 1
- ・吉 本 興 業
- ・NHK営業サービス
- ・NHKグローバルメディアサービス
- ・NHKテクノロジーズ
- ・共 栄 サ ー ビ ス
- ・放送衛星システム

(五十音順) (2025年3月31日現在)

12. 役員

(1) 役員体制 (2025年3月31日現在)

理事長	高橋 正尚	
常務理事	柳原 浩	
理事 (非常勤)	有吉 伸人	(株式会社NHKエンタープライズ代表取締役社長)
理事 (非常勤)	上野 一彦	(東京学芸大学名誉教授)
理事 (非常勤)	伍藤 忠春	(公益財団法人日本パラスポーツ協会評議員)
理事 (非常勤)	立原 麻里子	(社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会理事長)
理事 (非常勤)	田内 誠人	(NHKメディア総局展開センター事業部長)
理事 (非常勤)	中村 吉夫	(社会福祉法人聴力障害者情報文化センター理事長)
理事 (非常勤)	橋本 正明	(公益財団法人社会福祉振興・試験センター理事長)
理事 (非常勤)	藤澤 浩一	(NHKメディア総局コンテンツ制作局長)
監事 (非常勤)	阿部 陽一郎	(社会福祉法人中央共同募金会常務理事)
監事 (非常勤)	大道 隆晴	(日本放送協会健康保険組合理事)

(2) 理事および監事に支払った報酬等の額

役員区分	報酬の総額 (千円)	報酬等の種類別の総額		対象者数 (人)
		定額部分	変動部分	
理事 (非常勤役員を除く)	25,986	22,836	3,150	2
非常勤理事・監事	140	140	0	6

※NHKおよびNHK関連団体の役職員としての立場を有する非常勤理事3人・
非常勤監事1人に対しては、報酬を支払っていません。

※上記以外の非常勤理事5人・非常勤監事1人に対しては、理事会に出席の都度、
定額を支払っています。

13. 2024年度末常勤総数

13人